

2026 年 7 月 21 日

Press Release

報道関係各位

【イベント開催レポート】
AIFN 主催『GMP シンポジウム 2026』を開催
サプリメント製造品質管理の国際基準と日本の GMP 義務化について、業界一丸で課題を議論
2026 年 7 月 16 日（木）大手町プレイスホール&カンファレンス

一般社団法人国際栄養食品協会（AIFN）（理事長：天ヶ瀬晴信）は、2026 年 7 月 16 日（木）に大手町プレイスホール&カンファレンスで『GMP シンポジウム 2026 — サプリメントの安全性と製造品質管理の新時代』を開催しました。



本年 9 月、日本の機能性表示食品制度における適正製造規範（製造管理及び品質管理の基準：GMP）の義務化に伴い、業界がこの転換期を迎える中、製品の品質のみならず、製造工程そのものの信頼性にも消費者の注目が集まっています。本シンポジウムは、こうした状況を踏まえ、国内外の業界団体・認証機関・品質管理エキスパートが一堂に会し、課題の克服と消費者の信頼回復に資する場とすることを目的に開催しました。



まず、冒頭に AIFN 理事長 天ヶ瀬 晴信より「サプリメントの安全性と製造品質管理の新時代」と題し、食品の「機能性」を世界で通用させるための製造・品質管理はどうあるべきかという今回のシンポジウムの趣旨をお伝えし、「日本においても GMP の徹底は必須で、業界全体で信頼回復を強力に進めていく必要があり、こうした状況で今回、海外の製造品質管理基準と今年 9 月から義務化される日本の GMP との比較の中で、その違いを理解することで、課題克服と消費者の信頼回復の一助としたいです」とお伝えしました。

次に、認証機関である NSF Korea 社 グローバルフード部門 シニアマネージャーのホジン・ジョン氏と、NSF Japan 株式会社 グローバルフード部門 マネージャーの高橋佑輔氏に登壇いただき、「グローバル視点で見る ダイエタリーサプリメント GMPと NSF/ANSI 455-2」をテーマに講演いただきました。日本において機能性表示食品に対する GMP 義務化の議論が進む中、ダイエタリーサプリメントの製造事業者には、消費者からの信頼、規制遵守、国際的な信頼性を支えるためのより強固な製造管理・品質管理体制の構築が求められています。講演では、米国における current Good Manufacturing (cGMP) について国際的な視点、及びアジア地域の視点も交えながら、主要な規制上の期待事項や製造品質システムを検証する上での第三者監査・認証プログラムの役割について紹介いただきました。



cGMP の海外対応事例として、ニュートライト™の品質エンジニアであるザラ・オスマニ氏に登壇いただき、「製造における cGMP 原則の実践」と題して、ニュートライト™の原材料の適格性評価、サプライヤー管理、試験・品質管理、トレーサビリティなど、製品ライフサイクル全体を通じた cGMP の実践について具体例を交えながら、説明いただきました。さらに、品質システムの構築が単なる規制対応にとどまらず、製品の安全性・品質の一貫性の確保、消費者からの信頼向上、さらには事業価値の向上につながることにについても解説しました。



日本の GMP 対応事例として、(一社)日本健康食品工業会(日健工)・三生医薬株式会社 常務取締役 又平 芳春氏は、「日健工のご紹介と GMP 義務化に向けた対応状況」についてご講演いただきました。国内におけるサプリメントの市場規模の拡大を続けている中、2025 年に発足した日健工は健康食品の受託加工企業 30 社が正会員となり、製造現場を熟知する工業会として、官民一体となって GMP 義務化を成功させ、安心と信頼の市場を築くために取り組んでいきたいです」と話されました。

最後に、「サプリメント GMP 義務化に向けての方向性」をテーマとしたパネルディスカッションでは、消費者庁 食品表示課保健表示室 課長補佐 糸井 雄一氏による「機能性表示食品の GMP 要件化 ～現状と課題～」のご講演を皮切りに、日本の GMP 義務化の意義や、国際基準に基づく品質管理の重要性について意見を交わしました。日本の製造品質管理のレベルが向上していくことが重要であること、また日本の消費者からの信頼のおける制度整備について議論しました。





閉会挨拶として、AIFN 副理事長の橋口智親より全体の総括と、かつてサプリメントの日米の認識の違やサプリメントの普及に日米の業界団体や AIFN が果たしてきた想いに触れ、今回のシンポジウムがこれから先の品質管理の国際化に向けたきっかけになれば嬉しいと語りました。そして、品質管理の国際化のためには、日本と海外との制度の理解を深めつつ、長い視野で取り組んでいく必要があると締めくくりました。

AIFN は今後も業界団体と協働しながら、サプリメント業界全体の品質向上と消費者信頼の醸成に貢献してまいります。

<イベント概要>

- イベント名： GMP シンポジウム 2026 — サプリメントの安全性と製造品質管理の新時代-
- 実施日時： 2026 年 7 月 16 日 (木) 13:00-15:50
- 会場： 大手町プレイスホール&カンファレンス (2F ホール)
- 主催： 一般社団法人 国際栄養食品協会 (AIFN)
- 後援： 一般社団法人 日本健康食品産業協議会 (JAOHFA)
一般社団法人 日本健康食品工業会 (日健工)
- 協賛： ニュートライト™ | NSF インターナショナル

<プログラム>

時間	プログラム	登壇者
13:00	開会の辞	天ヶ瀬 晴信 (AIFN 理事長)
13:20	ダイエターサプリメント cGMP と NSF/ANSI 455-2 に関する国際的視点	ホジン・ジョン 氏 (NSF Korea 社 グローバルフード部門 シニアマネージャー) 高橋 佑輔 氏 (NSF Japan 株式会社 グローバルフード部門 事業開発マネージャー)
13:50	cGMP 対応米国企業の例	ザラ・オスマニ 氏 (ニュートライト™ 品質エンジニア)
14:20	国内 GMP 対応の事例紹介	又平 芳春 氏 ((一社) 日本健康食品工業会 (日健工) ・三生医薬株式会社 常務取締役)
15:00	パネルディスカッション 質疑応答	消費者庁 食品表示課保健表示室 課長補佐 糸井 雄一 氏 および上記登壇者
15:45	閉会の辞	橋口 智親 (AIFN 副理事長)

<登壇者プロフィール>

ホジン・ジョン (Hojin Jeong) 氏

(NSF International Senior Manager, Global Food Division, NSF Korea)

NSF のグローバルフード部門シニアマネージャーとして、韓国および日本における食品関連事業を担当。現在は Global Food Division における韓国と日本のシニアマネージャーとして、食品製造、小売、食品機器、サプライチェーンなどの複数分野において、監査プログラム、技術サービスの提供、顧客対応を含む地域業務を統括。食品科学・技術分野の博士課程を修了後、食品分析担当者として食品業界でのキャリアを開始。その後、食品安全および品質管理を専門とするコンサルタント、監査員として、20 年以上にわたり食品業界に従事している。

高橋 佑輔氏

(NSF Japan 株式会社 グローバルフード部門 Business Development Manager)

NSF のグローバルフード部門シニアマネージャーとして、韓国および日本における食品関連事業を担当。現在は Global Food Division における韓国と日本のシニアマネージャーとして、食品製造、小売、食品機

器、サプライチェーンなどの複数分野において、監査プログラム、技術サービスの提供、顧客対応を含む、地域業務を統括。食品科学・技術分野の博士課程を修了後、食品分析担当者として食品業界でのキャリアを開始。その後、食品安全および品質管理を専門とするコンサルタント、監査員として、20年以上にわたり食品業界に従事している。

<NSF とは>

1944年の設立以来、食品・水・消費者製品・環境分野における公衆衛生規格の策定と認証サービスを提供している独立した国際的な第三者認証機関です。監査・認証・試験・コンサルティングを通じて世界110カ国以上でサービスを展開し、ISO/IEC 17025 認定を取得した研究所では試験・認証・ヒト健康リスク評価も実施しています。世界保健機関（WHO）の食品安全・水質・医療機器安全に関する協力センターでもあり、規制当局・製造者・消費者から広く信頼を得ています。サプリメント分野においては、米国 cGMP をはじめとする製造品質管理の認証プログラムを通じ、業界の品質水準向上に貢献しています。

ザラ・オスマニ (Zarah Osmani) 氏

(Nutrilite Nutrition Quality Engineer)

ザラ・オスマニは、米国ミシガン州エイダにあるアムウェイ本社栄養粉末工場で、製造業務をサポートする品質エンジニアです。現在の役職では、現行の適正製造基準（cGMP）への準拠を確保し、継続的な改善活動を推進し、高性能な新製品の開発を支援。アムウェイ入社以前は、LG エナジーソリューションズで自動車用バッテリー業界、アスペンサージカルで医療機器業界において、品質および製造エンジニアリングの職務に携わる。これらの経験を活かし、ザラは多様な経験に基づき、堅牢なシステムと業務効率、そして事業目標のバランスを取りながら、実践的な品質ソリューションを導入し、最終的に製品の品質と消費者の信頼を高めている。

<ニュートリライト™とは>

ニュートリライト™は、ビタミンおよび栄養補助食品における売上高世界 No.1※のサプリメントブランドです。植物の研究・種の選定から、自社認定農場での有機栽培、製造・品質管理まで、サプリメントができるまでの全工程を一元管理する業界唯一のブランドとして、90年以上にわたり品質と安全性の追求を続けています。すべての原材料は種までさかのぼって追跡可能な高度なトレーサビリティ基準を有しており、米国 cGMP（現行製造品質管理基準）に基づく製造管理を実践しています。

(※グローバルデータ調べ：<http://gdretail.net/amway-claims/>)

又平芳春氏

(一般社団法人日本健康食品工業会 健康食品推進委員会委員長 | 三生医薬株式会社 常務取締役)
焼津水産化学工業株式会社にて開発・生産本部研究開発部長、取締役研究開発本部長兼機能食品開発部長、取締役営業本部営業統括部長兼 UMI ウェルネス株式会社代表取締役社長を歴任、2011年には取締役大連味思開生物技術有限公司董事長兼総経理等を経て、2015年に三生医薬株式会社 執行役員研究開発副本部長に就任。現在は常務取締役上席執行役員研究開発本部長として従事する。また健康食品の受託加工企業30社が正会員となっている一般社団法人日本健康食品工業会の健康食品推進委員会委員長として業界の活動も支援している。

<日本健康食品工業会（日健工）とは>

日健工は、健康食品の受託開発製造を担う事業者が結集し、健康食品の安全性向上と受託製造業の健全な発展を目的に活動する業界団体です。GMP 対応をはじめ、制度・品質管理・サプライチェーン上の共通課題に取り組み、実務に根ざした情報発信や政策提言を行っています。

<三生医薬とは>

三生医薬株式会社は、静岡県富士市に本社を置き、健康食品・医薬品等の企画・開発・受託製造を行う CDMO 企業です。多様な剤形の製造に加え、包装、原料開発、学術調査、製品企画など、商品開発から製造・出荷までを一貫して支援しています。また、日本健康食品工業会の設立・運営にも参画し、健康食品受託製造業界の品質向上と信頼性確保に取り組んでいます。

—— 本件に関するお問い合わせ先 ——

一般社団法人 国際栄養食品協会 (AIFN : アイファン)

〒163-1320 新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー モバフ 20F

Tel: 03-6365-0424 Fax: 050-3488-8290

公式 Web Site: <https://www.aifn.org>

事務局 : info@aifn.org